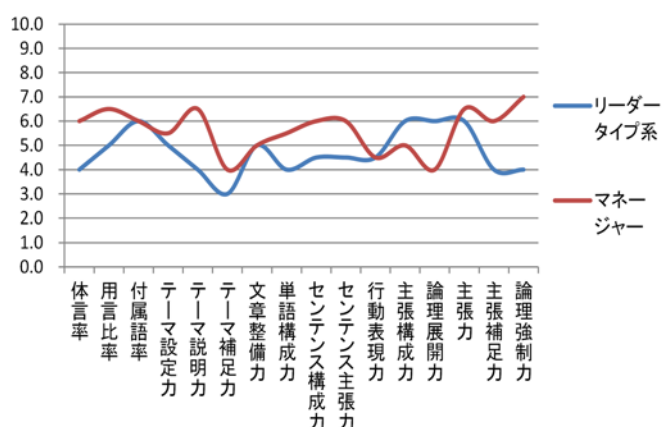


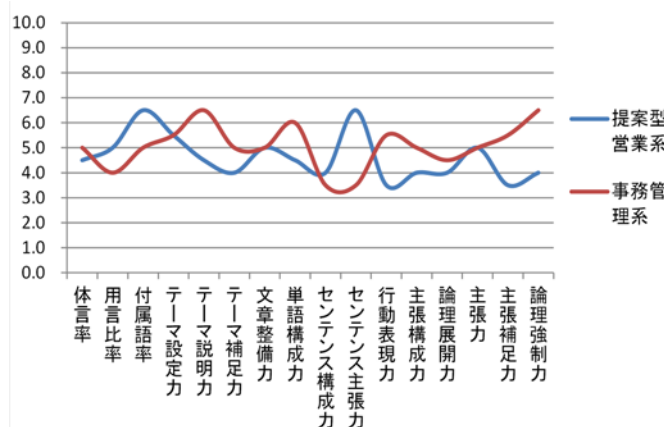
職種と文章の心電図(分析値グラフ) 人材特徴の可視化

分析値グラフは、文章分析《文道》の特徴の一つです。下記グラフを「文章の心電図」と呼んでいます。一人が異なるテーマで文章を書いても、ほぼ類似したグラフ形状になります。分析値の大きな変化も、余りありません。心情変化、生活や仕事のリズムが変わったとき、大変な問題を抱えた時グラフ形状が大きく変化します。得意なテーマで書き表した文章の分析値グラフはその人そのものを表していると考えてよいでしょう。仕事を続けていると、表現スタイル、思考スタイル、考え方が次第に固定していきます。

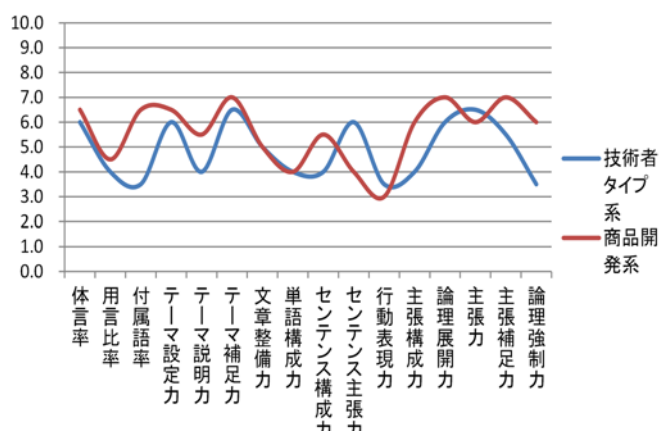
下記に示したグラフは、職種、職位ごとにサンプルを取り、分析値を探りだした結果です。他業種から取り出しているため、客観性は高いですが、社風によって、若干の変化が見られます。示させて戴いたデータを基に、自社の社風、特異性を考えてみるのも良いでしょう。



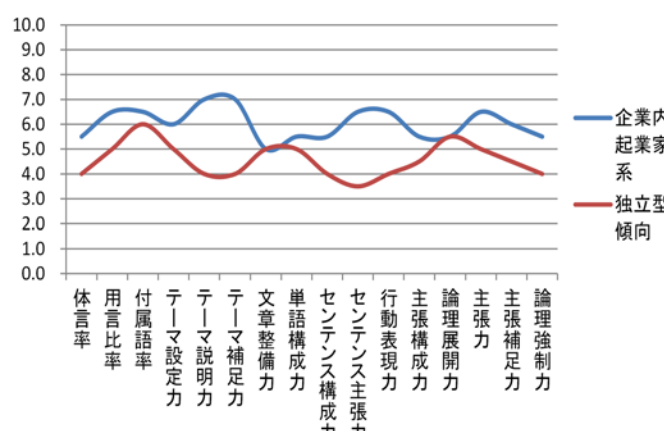
リーダーとマネージャーを比較しました。マネージャーは管理的な感覚が強くなっている組織が多いようです。リーダーよりもマネージャーの方が強引になっています。



提案型営業と事務管理を比較しました。営業系の方が分析値の多くの項目が小さくなっています。右の2項目のグラフが右上がり、説得を急ぐ傾向があります。



技術者と商品開発系とはよく似ています。商品開発者は、技術者よりも社会や市場を良く見ないといけないでしょうから、分析値は小さくなります。共に一種のこだわりがあるようです。



企業に所属した起業家と、独立する起業家の差が現れています。すべてのリスクを負わなければならないとなると、どうしても分析値は小さくなります。

経験で学ぶのは大切ですが、経験だけで、能力が高められるとするのは無理があります。体系的に知識を積み上げ、知識が活用できるようにして、さらなる気付きや技術が高められます。知識体系のない技術は脆弱です。技術化されない知識は役にたちません。知識の供給、育成を組み合わせながら、昇格や採用をご検討ください。

言葉を素材にした分析システム 人材を把握する手段として 文章分析《文道》

お問い合わせはサテライトオフィスへ
サテライトオフィス phone(0463)60-2244
〒255-0004 神奈川県中郡大磯町東小磯 879-3
センターオフィス phone(03)5843-7365
〒132-0034 東京都江戸川区小松川 1-5-8-906

株式会社シードウィン
http://www.seedwin.co.jp mail:info@seedwin.co.jp

すべての人材を均等に、客観的にあまねく人材を観察する
人材確認に新しいモノサシを活用してください

《文道》分析結果 アウトプットの種類

文章表現系測定：文章書き方測定、文章表現力測定、表現好感度測定

人材能力系測定：人材5基本能力、適性傾向

主張系：キーワード群、キーセンテンス群、類似センテンス群

意識傾向分布

文章分析値：分析値グラフ(文章の心電図——人材特徴の可視化)

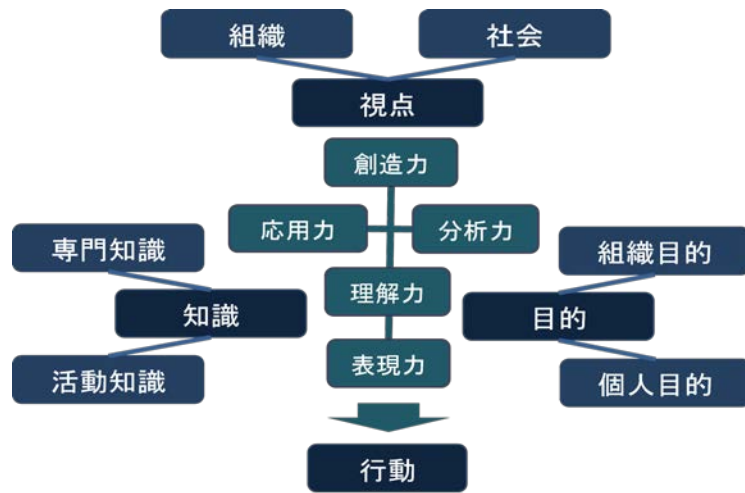
人材を評価するには、実績が第一です。実績は誰にでも分かり、納得できる材料です。活動ステージが平等に与えられておれば、実績での評価は確かになりますが、業務ではスポーツのように同じステージ、同じ条件などはありません。十分に活動できない場合、苦手な事柄ばかりが与えられている時もあるでしょう。このような場合、好成績を上げられるはずはありません。職場の人間関係が影響する時もあります。うまく当てはまった時は高い評価が得られるでしょう。

論述文章の分析では、文章表現を通して、視点、思考形態、経験や知識の習熟程度を推し量っています。知っている言葉しか使えず、意味を考えていなければ文章としてまとまりません。1つの文章から、多くの事柄がつかめ、実績評価への大きな補完資料になっているはずで。

文章分析《文道》スペック

1	システム名称	文道
2	開発初年度	2000年
3	開発元・システム所有者	(株)シードウィン
4	分析対象言語	日本語、英語
5	分析用辞書	体言、用言、接続詞、助詞助動詞、類語反語、短縮語、送り仮名、表現形式統一辞書、記号、複合語
6	辞書登録単語総数	約200,000単語
7	分析対象の形態	文章、簡条書き文、単語群
8	分析可能な1文章の文字数	400字以上(簡条書き文、単語群の集まりが400字以上)
9	分析処理スピード	10秒/800文字(20分/10万文字)
10	日本語表現基準	全国紙(朝日、産経、日経、毎日、読売)社説からターゲットを抽出
11	文章ジャンル別分析基準の種類	論文・評論(散文)、エッセイ、小説の各基準
12	ビジネス文書(散文)基準の種類	業種別、職種別基準、組織文化別基準 等 新たに分析基準を求める場合は、250文章以上、仮説値を求めるには20文章
13	分析に関わる分析値種類数	単語分解数:200種類 分析値数:35種類 常用分析値数:16種類
14	目的別分析分野	人材分析、意識分析、組織分析、マーケット分析、社会変化分析 人材分析、組織分析の場合はおよそ2年、表現構造&思考構造変化はおよそ5年
15	分析結果の有効期限	意識、マーケティング、社会は変動要因が含まれやすいため限定できない。市場変化は新規参入企業がない限り、変化は起こりにくい。

適切な設問であれば、適切な結果が導き出される



上図の説明が <http://www.seedwin.co.jp/jinbun.html> 『人材論 人材能力を探る』の P.6、7 にあります。

設問は、選抜のためだけではなく、設問は、組織の姿勢を現しています。設問例が提示されれば、受験者は、設問の解を求めるために、考え始めます。学習を始めるでしょう。仕事への姿勢を変えるかもしれません。設問が、求める人材を示します。職務規定や能力定義を明らかにするよりも効果があります。誰もが、何もせずに答えられる設問は、現時点のそれぞれの手元にある仕事についてです。そこから、頭を上げて、社内を見て、市場を見て、社会を見ていきます。職位によって、仕事の性質によって、見える範囲が変わってきて、知識と経験によって深さが変わってきます。求めようとする人材の方向は同じでも、環境、職種、職位によって設問が変わってくるでしょう。設問は視点、目的を明らかにしてもらい、経験から未来に向けて論理を展開してもらい、設問作成はお任せください。

入社エントリーシート、入社論述試験の設問の場合

新卒者は仕事の経験がありません。仕事についての問いへの解は困難でしょう。現在から未来に向かっての設問が最適になるはずですが、しかし、一般には、誰でもが簡単に答えられる設問になっているのが現状であり、模範解答例も出回っています。似通った解答が何百、何千と集まって来ます。似通った解答から、個人の特徴を取り出してくるのが文章分析の強みです。

応募量を絞り込むつもりで、考えてもらうためのエントリー設問を用意すると、二桁の応募量になる場合もあるようです。冒険をせずに一般的なエントリーシートにして、後で論述試験を付け加えるのも一つの方法です。

論述での指定解答文字数

論述試験での文字数制限があります。自在に決めて構わないのですが、目安を示しておきます。

エントリーシートでの解答文字数は多い方が良いように思われがちですが、序破急としてのまとまりが大切です。無駄な文、節があつては、かえって曖昧な内容になってしまいます。

・[400字] 誰もが、まとまりよく表される確率の高い文章の文字数は 400 字です。20×20 の原稿用紙はこの意図があつたのでしょう。文章を書く練習をするにはもっとも都合の良い文字数です。ですから、論述試験等々では、作者の状態を見分けにくくなります。
 ・[800字] 1 文章を 800 字で書き表すには、内容を練った上で、表現を絞り込まねばなりません。作者にとっては難しい文字量で、間延びするか、書き足りない状態になるかです。見極めるには良い文字数です。
 ・[1600字] 丁寧な論旨展開を要求する場合は良いでしょう。思考状態が分かり易い文字数です。段落形式では 5 段落形式(事例等を含めた文章)になるでしょう。前提、アプローチ、論旨構造、結論のまとまりを要求しています。2000 文字程度までは同じ扱いができます。

設問の内容と、制限文字数を組み合わせて検討してください。

(株) シードウィン <http://www.seedwin.co.jp>

人材の文章分析<<文道>>のアウトプットの種類

日経 225 の HP 社長あいさつ文を分析サンプルとして用意しました。(別紙 A4 版 2 枚両面)

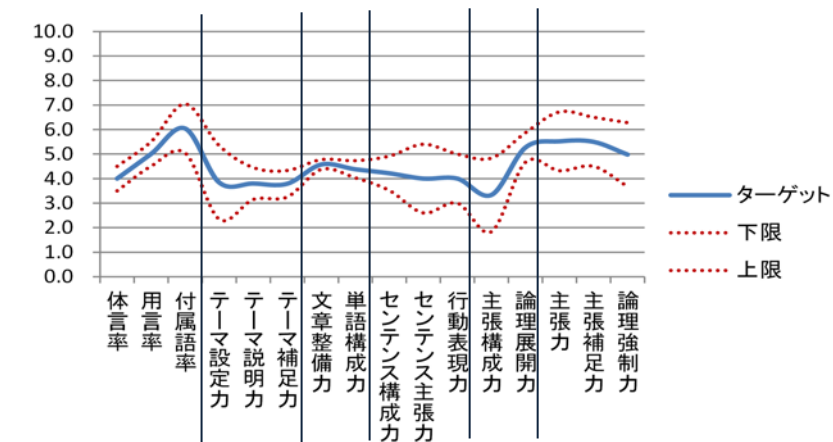
- 1 文章力と 5 つの基本能力
- 2 人材スタイルと適性傾向
- 3 キーワード群とキーセンテンス
- 4 類似センテンスの抽出

■ 1_1 文章力は表現力とテクニカルの 2 種類です。表現力は論旨展開のバランスを測定しています。主張しているところが明瞭に表現されているか、論証は適切であるか、などを表現構造から導きだしています。

■ 1_2 文章表現テクニカルの基本 10 項目で判定しています。評価項目は、HP <http://www.seedwin.co.jp/management.html> 『マネジメント考 文章表現の基本』にあります。評価基準は、評論、新聞社説にしています。

■ 1_3 コミュニケーション能力、情報能力などビジネス能力には様々な項目が上げられています。ビジネス能力を構成する能力が基本能力です。全部で 11 種類ありますが、その中で、表現力、理解力、分析力、応用力、創造力が特に大切です。ビジネス能力のすべてに関わっています。 <http://www.seedwin.co.jp/jinbun.html> 『人材論 人材能力を探る』を参照してください。

	分析値グラフ形状				
	右上がり型	右下がり型	平行型	山型	谷型
対人性	惹きつけ型	押し付け型	観察型	積極型	受け身型
論理性	列記型	語り型	評論型	説明型	対応型
表現性	広がり型	まとまり型	伝達型		
強調性	吐き出し型	命令型	黙考型	力み型	分散型
思考性	集中型	混迷型	整頓型		
主張性	説得型	論証型	まとめ型	論理型	押し付け型



■ 2_1 人材スタイルは左表のように設定されています。グラフは分析値グラフで、6 つに分類されています。6 つと「対人性」「論理性」等々が連携しています。

■ 2_2 適性傾向は、○△で表されていますが、数値から計算しています。●が最適で、◎○の順に最適さが低くなっています。

人材スタイル、適性傾向は、文章分析結果と作者人材と比較して求め、論理化しています。

分析値グラフの説明は、 <http://www.seedwin.co.jp/report.html> 「文章の心電図の読み方」にあります。

■ 3_1 文章を分析するとキーワード群が抽出されます。キーワード群は論旨の中心になっている単語群です。キーワード群を手掛かりにして、キーセンテンスが導き出されます。キーワード群、キーセンテンスをご覧戴くと、書かれている内容が全文を読まなくても分かるはずです。

■ 3_2 サンプルでは本文中に「企業」「経営」「社会」の 3 単語を使っている文章のみを取り出しました。「企業[0.5]」の数値 0.5 は意識の強さとして表しています。数値は大きいほど意識が強くなります。単語が使われていても数値が小さければ、意識が乏しいと示しています。検索する単語群は、自由に設定して戴けます。

■ 4 類似センテンスの抽出の資料です。使われている単語を参考にして、同じ単語で構成されているセンテンスを取り出しています。コピーしている文の発見ができるだけでなく、類似センテンスでも、ユニーク単語を表していますから、違いがわかるようになっています。